

25 journal

society&business Tokyo25 journal
執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

「人に寄り添う寺でありたい」

高峯山天寧寺で晋山式 37世住職に沖祐昭さん



青梅市根ヶ布の高峯山天寧寺で5月11日、新任職就任の儀式「晋山式」が営まれた。新住職は沖祐昭さん。31年間、同寺を背負ってきた前任職で義父の昭彦さんに代わり、37世住職に就いた。
(岡村信良)



稚児、父母たちと記念撮影する祐昭新住職

檀信徒筆頭総代の数野國明さん宅に設けられた安下処で支度を整え、寺に向かう祐昭新住職らの行列が根ヶ布自治会館を出発、町内を練り歩いた。華やかな衣装に男児は烏帽子、女兒は宝冠をかぶった稚児を先頭に、随伴する僧侶、大傘を差し掛けられた祐昭新住職や檀信徒代表らが列を成して進んだ。



須弥壇に上り、問答を取り交わす真祐さん(中央)

祐昭新住職は山門で住職としての心構えを述べて、本堂に上殿。須弥壇に上り、本尊の釈迦牟尼仏、達磨大師、歴代の住職に報恩感謝の誠を捧げた。その後、永年研鑽を積み重ねてきた学徳、力量で、鋭い問答を取り交わした。天寧寺の本寺に当たる山梨県の廣徳院、林光雄老師から「問答はしっかりしたもの」との承認を受け、曹洞宗東京都宗務所長の大辻徳彦老師から辞令を受けた。

本山の永平寺、総持寺の両寺管首代理ら来賓、寺関係者、檀信徒ら450人が式に列席し、新住職の誕生を晴れやかな思いで見守った。

首座法戦式、退董式も厳かに

当日は、修行僧をけん引する者が必ず通るべき関門となる首座法戦式も行われ、祐昭新住職の長男の真祐さんが10人の修行僧と問答を交わし、首座としての力量を示した。前日には昭彦さんが住職を退任する退董式が厳かに行われた。同寺は、曹洞宗の典型的な七堂伽藍の配置を残し、1960(昭和35)年に都の史跡に指定された。住職は、初世神嶽通龍禪師以来、累代高僧を輩出してきた。坐禅会や御詠歌の会のほか、講演会、コンサートなどのイベントも行い、開かれた寺院として親しまれる。

祐昭新住職は「お釈迦様の布教の基本である、人の人格、年齢、教養、性質、まわりの環境などをよく知った上で、その人が理解できるように法を説く対機説法を大切に、現代に即した教えを模索しながら、人に寄り添う寺でありたい」と決意を述べた。

霞共益会館

- ご案内
- 2,3階.....
各種会議 講演会 演芸会
パーティー 各種宴会 展示物販売
 - 1階.....
JA西東京 お食事 会食 ふじ嘉

お問い合わせ 0428-22-1518 一般財団法人 霞共益会
青梅市野上町2-21-5

西多摩の社長さんへ 法人会に入会しませんか?

青梅法人会は中小企業経営者の集まりです。地元で長年経営されている名物社長さんも、起業したばかりの若い社長さんも、たくさんご加入されています。西多摩全域をテリトリーとした地域最大の団体ですので、ビジネスチャンスも多くあるはず。あなたも法人会に入会して、経営者の輪に加わりませんか。

- 1 よき経営者の証しです
- 2 充実した研修があります
- 3 社会に貢献しています
- 4 経営者の輪が広がります
- 5 後継者育成に力を入れています。
- 6 充実した福利厚生制度

入会資格 青梅税務署管内(東京都青梅市・福生市・羽村市・あきる野市・奥多摩町・瑞穂町・日の出町・松原村)に所在する法人企業及び個人事業者であればどなたでも入会できます。

公益財団法人 青梅法人会 公益社団法人 青梅法人会事務局
東京都青梅市河辺町5-14-2 西多摩小売酒販会館2階/3階
電話:0428-24-8863 FAX:0428-24-8984